

平成24年3月1日

公開シンポジウム

ファイトジーンの可能性と未来 IV

植物の遺伝子組換え技術は、今後の植物科学の最も重要な分野の一つです。このような技術を用いた植物基礎研究成果は、将来どのような実用化に結びつく可能性があるかと考えるのかを、3名の学外講師の講演を含めて具体的な提案例で紹介いたします。今後のこの分野の方向性を広く理解するとともに、香川大学で行われている植物遺伝子関連の研究を紹介することを目的としています。参加無料ですので、ふるってご参加ください。

1. 日時／平成24年3月7日（水）

11:00～17:00（入場無料）

2. 場所／かがわ国際会議場（サンポート高松シンボルタワー6階）

3. 内容／

◇招待講演

「植物と土壌微生物の細胞内共生：宿主植物遺伝子の研究からわかってきたこと」

国際基督教大学 河内 宏 博士

「遺伝子組換え花きの実用化を促進する技術開発：キメラリプレッサーの有効性を中心に」

（独）農業・食品産業技術総合研究機構 花き研究所 大坪 憲弘 博士

「ゲノム解析によるイネ・いもち病菌相互作用の研究」

（財）岩手生物工学研究センター 寺内 良平 博士

◇研究報告

「概日リズムによる植物免疫応答制御機構」

多田 安臣准教授

「マメ科植物の共生に関与する小胞輸送について」

野村 美加准教授

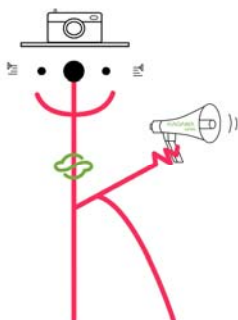
「花の形や色の制御を目指して：器官分化と花卉表皮細胞関連遺伝子の解析」

鳴海 貴子准教授

「植物における希少糖作用の分子機構」

秋光 和也教授

4. 主催／香川大学農学部・農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター



➤ 問い合わせ先

香川大学 農学部庶務係 仁尾

TEL：087-891-3008 FAX：087-891-3021

E-mail：ashomut@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

フアイトジーンの可能性と未来 IV

とき 平成24年 **3月7日** (水) 午前11時00分~午後5時00分
ところ かがわ国際会議場 (サンポート高松シンボルタワー6階)

参加費
無料

◆招待講演

「植物と土壤微生物の細胞内共生：宿主植物遺伝子の研究からわかってきたこと」
国際基督教大学 河内 宏 博士

「遺伝子組換え花きの実用化を促進する技術開発：キメラリプレッサーの有効性を中心に」
(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 花き研究所 大坪 憲弘 博士

「ゲノム解析によるイネ-いもち病菌相互作用の研究」
(財) 岩手生物工学研究センター 寺内 良平 博士

◆研究報告

「概日リズムによる植物免疫応答制御機構」
香川大学総合生命科学研究センター准教授 多田 安臣

「マメ科植物の共生に関与する小胞輸送について」
香川大学農学部准教授 野村 美加

「花の形や色の制御を目指して：器官分化と花弁表皮細胞関連遺伝子の解析」
香川大学農学部准教授 鳴海 貴子

「植物における希少糖作用の分子機構」
香川大学農学部教授 秋光 和也

主催：香川大学農学部
農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

お問い合わせ先 香川大学農学部庶務係 087-891-3008まで
<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene>